

平成元年度

市長施政方針

基盤づくり

本市にとって都市環境をめぐる課題は、基本方針にも触れましたように、やはり道路交通体系を主軸とした基盤づくりであり、もう一つは快適な生活機能を提供する条件づくりを補完していくことと存じます。

まず、その進捗が待望される東北横断自動車道は、すでに新関地区で用地取得の事業消化がなされ、また新津地区でも関係団体との設計協議が進行中であり、いよいよ全市域で本格実施の機が迎えられる経過と見通しに至りました。新年度においては、残る関係地域の用地取得と一部工事着手準備がされているところであり、また、まずとって予定される新津インターを中心とした周辺の開発指針を検討してまいりたいと考えています。高速機能を最大限に生かした地域の物流ネットワークの核として「ふるさとターミナル」的要素を期待したいもので、鋭意努力を重ねていく所存であります。

また、高速道路建設の盛土用土砂採取につきましてもおおよそ六百万立方メートルともいわれますことから、その跡地を最大限に活用したい意向をもつて先に「ふるさと公園」事業を計画し、それらとの関連の中で進めてまいりたいものであります。従って、その用地取得を本年度内にも一部先行させ、新年度につなげるべく別途ご提案を申し上げておるところであり、関係機関、地元各位の理解と協力を得て円滑な対応を図ってまいりたい所存であります。

一方、国道四〇三号線及び東バイパスは本市の基幹道路であり、その早期整備が望まれるところであり、また、環境指針の早期促進と効果的に将来に結びつける基盤づくりに努力していかねばなりません。新年度に予定される国道四〇三号線、新津地区の一部で当面土砂採取用道路として整備が図られますが、本格工事は小須戸地域から着手延長される運びであり、東バイパスもまた高速道の供用開始に合わせて整備が急がれる計画で、幸いにも関係機関の格段のご配慮を得て心強い推移であります。また、果施工の都市計画道路「駅前・中新田線」、「下野野・田家線」、「新津・村松線」の各線

環境づくり

5ページ2段目から

しました。石油の里公園は、整備途中のものです。石油の世界館のオープンをもって売り出したところでも、街路事業として、いずれも本町地内の拡張が引き続き計画されており、市街地環境整備の一層の推進を図るべく負担してまいります。

次に幹線市道についての施策であります。なかでも「下野野・稲島線」は、将来の環境機能のアクセラに欠かせない道路として昭和六十六年度から改良に取り組んでいるものであります。本線は、一級河川の寛路津大通川と並行し、幅員が狭く、交通量も増加しておりますため、新規に「住宅地・商業地・公共施設整備事業」の導入を図り、河川改修と併せて山谷地内から一層の整備を進めていきたい計画であります。当面は、一級河川の関連で、暫定ながら通称「新津・白根線」の山谷交差点から下流へ六百メートルの改良を図っていくことと致しました。また、交差点上流沿線の稲島地内ではすでに公共下水計画の中で雨水幹線工事が進みつつあり、河川・下水道との調整を踏まえて、市単独でも暫定拡張の改良工事を実施していきたいと考えております。

このほか、継続市道等整備につきましても、第十次五ヶ年計画に基づき推進を図りたいものですが、この中で「朝日三号線」は取りあえず金

十二億四千三百九十一万五千円の伸び率〇・〇％と予算規模の上では同じラインに並んだ次第であります。それでは予算案の詳細については別途ご説明申し上げることと致します。

また「田家・稲島線」、「大鹿第四九号三層線」などを中心に、他路線の舗装、側溝新設も含め、本年度同様積極的に事業の取り組みを進めてまいります。

農道整備に関連致しましては、新津郷広域農道が川根地区の二つの橋梁工事を行うことで機能することとなり、栗宮農道も竣工を迎える運びであります。また、阿賀左岸広域農道を始め他地区農道を引き続き推進するほか、特に団体営一般農道整備事業の中で新たに浦野地区の改良も取り込んでいくことと致しました。

なお、河川改修に関連致しましては、能代川改修事業が目下小口地内で順調にその進展をみているところであり、他方、能代川の治水能力に大きく影響する小阿賀野川は、全川にわたって早期の河床整備、築堤工事などが急がれます。今後においては現在の小規模河川改修事業から「中小河川改修事業」への格上げを求め、近隣市・村と一体となつて積極的な運動の努力をしてまいりたいと考えております。

次に快適環境の条件づくりであります。まず、公共下水道事業は、公害の解消や悪臭、そしてカヤヘのいない環境と美観形成に大きく貢献していることはすでに実証済みで、新しい時代に欠かせない都市施設であります。新年度においては、新たな年次計画のもとで「第三期事業」への着手をめざし、また継続事業の推進と併せて汚水取り込みの遅れの目立つ面整備の促進強化に向けて引き続き努力していくことと致しました。

「第三期事業計画」は、七か年を目途に、中部、北部、西部、新金沢処理区などこれまでの未完了地域を包括して整備区域の追加・拡大を図りたいとするもので、精力的に取り組むを進めてまいります。なお、前述した寛路津大通川に係る西部雨水一号幹線は、継続して雨水管敷設と道路の拡幅に伴う大通川の暫定整備にかかるとともに、大規模施設の汚水取り込みに伴う工事を実施したい計画であります。

一方「都市下水路事業」であり、また、新たに草水幹線の水路工の延長と舗装改良の付帯整備に取り組むこととし、新年度をもつてはば事業

の完了を期したいものであります。また「農業集落排水事業」については、西島地区で快適環境と農業用排水の水質保全を目的に進めておりますが、新年度において管路工などの整備を図ることでも事業の完了を予定し、本市で初めて農村部での下水道が開始致します。よって、施設の適切な運営管理を検討してまいります。

なお、本年は異常気象といえる無雪に等しい冬場を体験したところですが、しかし雪国という宿命だけに、今後とも往來の激しい道路の交通確保を図っていかねばなりません。新年度の融雪施設は狭い、新町、柄目木線」の新町地内と「本町・日宝町線」の二路線を計画し、順次他路線への拡大も準備してまいります。

次に、憩いの場づくりの關係であります。新年度も秋葉公園と石油の里公園地域を重点に、引き続き整備を進めてまいります。秋葉公園は、神社下駐車場への大型車両の進入ができず、これが一番の懸念となっており、本年度同様同様の道路の大幅な延長に重点をおき、公園としての環境づくりを前進させることと致

また、本市の基幹産業である農業であります。相変わらず厳しい環境で推移しておりますだけに、魅力ある展望こそ必要であります。このため、私は、①農家所得の向上 ②高生産農業の展開 ③農産物の付加価値化

④生産基盤と環境整備 という四つの柱を基本方向として施策の展開を図ってまいりたい所存であります。しかもまた他産業の振興とのかかわりの中で、農業基盤の有効な活用も考慮しつつ、地域農業の発展を推進したいものであります。しかし、課題も山積しております。当面の重点的な対応の一つは、やはり国の政策に据えられている「水田農業確立対

策」の推進であります。諸般の情勢から何としてもその対応に迫られるのでありまして、本年度同様当面の完全消化に向けて鋭意努力していかねばならないものと考えます。もう一つは、農業振興のサイドから地域活性化対策を検討するため、秋葉丘陵地帯の安定給水対策として二か年度計画で移転を含めた大がかりな改良を図ってまいりたいと考えてあります。

「お買物、ご用命は市内で」

活カづくり

さて、活力づくりであります。自動努力によるひたむきなチャレンジこそ地域活性化の原動力となるはずであります。その特性を生かす調和のとれた産業形成と振興を意図して全力をあげて取り組みを進めてまいります。

また、本市の基幹産業である農業であります。相変わらず厳しい環境で推移しておりますだけに、魅力ある展望こそ必要であります。このため、私は、①農家所得の向上 ②高生産農業の展開 ③農産物の付加価値化

④生産基盤と環境整備 という四つの柱を基本方向として施策の展開を図ってまいりたい所存であります。しかもまた他産業の振興とのかかわりの中で、農業基盤の有効な活用も考慮しつつ、地域農業の発展を推進したいものであります。しかし、課題も山積しております。当面の重点的な対応の一つは、やはり国の政策に据えられている「水田農業確立対

策」の推進であります。諸般の情勢から何としてもその対応に迫られるのでありまして、本年度同様当面の完全消化に向けて鋭意努力していかねばならないものと考えます。もう一つは、農業振興のサイドから地域活性化対策を検討するため、秋葉丘陵地帯の安定給水対策として二か年度計画で移転を含めた大がかりな改良を図ってまいりたいと考えてあります。

「お買物、ご用命は市内で」

好評

お慶びの余韻
手づくりの式菓子

いちご大福

新津銘菓
秋葉もち
栗太郎

お菓子づくり三代
田家屋
新津市本町四丁目
TEL (22) 0430

本町4
チェーン店
お店紹介

およばれやパーティには「花嫁衣裳
割引券」付の中振袖をどうぞ。

花嫁衣裳 伝 丸 伝

新津店 本町1丁目 ☎(24)3355(代) 新潟店 古町九番町 ☎(228)5881

内科・小児科・レントゲン科

大坂医院

新町1丁目6-12 TEL(24)5122